

平成28年度委託事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ～ 平成29年3月17日
調査研究事項	<p>《 委託研究 I 》</p> <p>【神戸市立丸山中学校西野分校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○（学習指導）個に応じたきめ細かな学習指導法の研究 ○（学習指導）日本語の学習を効果的に進める研究 ○地域に開かれた学校 <ul style="list-style-type: none"> 近隣中学校と連携（文化発表会・クリスマス会・餅つき） 学校公開、近隣福祉施設との連絡会の実施 ○「夜間中学校の存在」を周知させるための公開授業の展開及び広報活動の拡充 ○地域や定時制高校との交流を深め、進路指導を推進し、夜間中学校への理解・認識を深める。 ○入学希望既卒者の受け入れに係る課題 <p>【神戸市立兵庫中学校北分校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習言語である日本語を習得するために、母語別の系統的な学習の推進 ○個に応じたきめ細やかな学習指導方法の研究 ○基礎学力の定着を目指した学習指導法の積極的な研究 ○定時制高校との交流を深め、進路指導の効果的な推進 ○公開授業を実施し、実践内容や授業の様子などの発信 ○入学希望既卒者の受け入れに係る課題

<p>調査研究のねらい</p>	<p>【神戸市立丸山中学校西野分校】</p> <p>生徒の国籍、年齢をはじめ、渡日理由、就学歴、日本語習得状況など、年々多様化している現状において、より効率的に日本語を習得させることが課題である。そのために個に応じたきめ細かな学習支援をすることが研究テーマである。教科学習の中に日常生活に、より密着した教材を織り込むことや体験学習を意図的に取り入れる工夫をする。生徒たちの多くは、競争社会の中で長く底辺で生きざるを得なかった体験から、自らに自信が持てず、自己の人生を否定的にとらえがちである。生徒には学習の中で、書く・読む・聴く・朗読・輪読・発表等の機会を増やし、それらの成功体験を積み重ねることによって人間としての復権と自己を肯定するきっかけとしたい。文化発表会や授業公開日、「三年生を送る会」等の行事の場も、生徒の発表の機会として活用していきたい。一方、日本語指導用に開発した個々の能力に応じた教材や資料を系統化し、進度ごとに整理し、研究会・交流会の資料にして保存していくことも課題としている。</p> <p>【神戸市立兵庫中学校北分校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習言語である日本語運用能力を高める。 ○学習内容の理解と学力の定着を目指す。 ○研修や交流会を通して、教員の指導法の改善と向上を図る。 ○教員の効果的な指導法を探求する。 ○学習意欲や学習効果を高め、基礎学力の定着を図る。 ○自分の考えや思いを表現できるようになることを目指す。 ○学習することの「継続」が自分への自信となり、将来を展望した生き方ができるよう、指導・支援。 ○進路学習については、高校側の理解と協力を得ながら、3年生だけでなく、1・2年生の希望者にも定時制高校の学校体験・見学会への参加を積極的に呼びかけ、高校での学習や生活についての理解を深める。
<p>調査研究の成果</p>	<p>【神戸市立丸山中学校西野分校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交流活動 <ul style="list-style-type: none"> ・神戸識字交流会（公民館7館・定時制高校2校・夜間中学校2分校・識字教室6教室）に、本年度も作品出品と代表生徒の体験発表という形で参加。同じ悩みや共通体験を持つ人との交流や他の団体の取り組みについて知ることによって「識字」に対する多くの意見や考え方にも触れる機会となった。

- ・本校の丸山中学校生徒会を中心として「クリスマス会」「餅つき大会」を実施。職員はもとより、生徒同士の交流も図る伝統行事である。
- ・「3年生を送る会」では、太田中学校生徒会と交流。卒業式では、本校の丸山中学校と合同卒業式。分校生徒の人生の深さを語る答辞に、毎年丸山中学校生徒は深い感銘を覚える。
- ・丸山中学校の「主張大会」に参加。一般の中学生に人生を力強く歩む夜間学級生徒の存在を訴え、深い感銘を与え、「生きるうえでの指針」を与えた。夜間学級生徒には、分校で学ぶことへの自信に繋がった。
- ・例年行っている「夜間中学校の公開授業」では、市内の全公立中学校から多数の職員の参観があり、「教育の原点」について考える機会を提供できた。また西野分校の生徒たちにとっても大きな励みの場となった。
- ・市外の教育関係者や行政・立法関係者にも広く研修機会の場の提供を行っている。今年度は、文部科学省初等中等局初等中等教育企画課より2名、神奈川県大和市教育委員会より2名、埼玉県教育局市町村支援部より4名の視察を受け入れた。

○ タイムリーな職員研修の実施

西野分校の現状を踏まえたタイムリーな内容での全職員参加の研修会を実施した。

- ・研修1：学習指導研修「夜間中学校での学習支援ツール使用」
- ・研修2：道徳研修「夜間中学校での道徳授業モデル」
- ・研修3：生徒指導研修「スマートフォン安全教室」
- ・研修4：保健研修「緊急時の事例研究（高齢者や外国人）」
- ・研修5：進路指導研修「定時制・通信制高校教員による説明会」

【神戸市立兵庫中学校北分校】

○学習指導の充実

- ・外国籍生徒のために、学習言語としての日本語の獲得を目指し、授業前に「0時間目」と称して日本語特別授業（約1時間）を実施。個々の日本語習得状況に応じて教材を用意し個別指導を中心に実践した。兵庫県の事業である多文化共生サポーターや神戸市のボランティア制度を利用し、日本語指導の支援として講師を招き、本校の教師と共に指導することで教授法の体得を図るとともに、生徒の日本語能力の向上に結び付けることができた。
- ・今年度は中学校既卒者を受け入れ、その生徒も含めて受験を控えた生徒に対しては、国語、数学、英語の反復学習を実施し、基礎学力の向上を図った。

- ・自主的な学習意欲の向上を目指し、夏休みに例年と同じく、希望者に夏季学習会を実施、個別プリントを準備し基礎学力の向上を図った。

○教科打ち合わせ会

- ・全クラス、全授業で複数指導を実施している。
- ・今年度も、よりきめ細かな個別指導を可能にするために、毎週教科打ち合わせを行い、共通理解の基に指導が実施できるようにした。

○校外学習

- ・神戸海洋博物館、徳島県の大塚国際美術館を訪問した。視聴覚教材を使い、きめ細かな事前・事後学習を実施した。

○交流、広報活動

- ・学校公開デー 地域と神戸市学校園の職員に公開。毎年、教育の原点や喜びを再確認する機会となっている。
- ・兵庫中学校本校との生徒交流会
兵庫中学校生徒会を中心として、交流会を実施。夜間中学校の説明・紹介、その後、各教室での分科会を実施し、自己紹介後、共に学習をする。最後に質疑応答の時間を設定し、相互に質問や意見交換を行うことで交流を深めることができた。
- ・運動会、文化祭
兵庫中学校本校の教員の積極的な協力を受け、実施。
兵庫中学校職員も参加。生徒は日本の学校文化に触れ、日本の学校文化への理解が進み、公立学校を支援する力となっている。
- ・卒業式 兵庫中学校と合同で行う。分校生の答辞に兵庫中学校生徒は皆、深い感銘を覚える。

○作文発表会

第23回を数えた。獲得した日本語活用の場。今年は、兵庫中学校北分校で学びつつ、タガログ語の通訳として県下の小中学校で活動し公教育を支える力となっている生徒が現れるなど、夜間学級の新たな可能性が示された。

○市外の教育関係者の視察受け入れ

文部科学省初等中等局初等中等教育企画課より2名、岡山県教育庁義務教育課より5名、埼玉県教育局市町村支援部より2回延べ8名の視察。